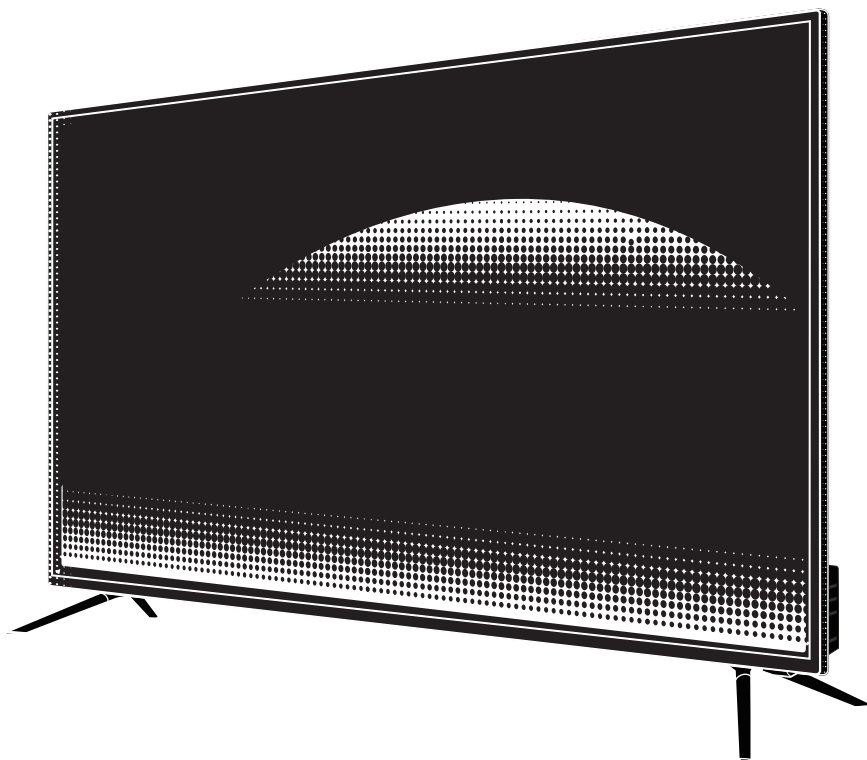


TEES LE-5040TS

取扱説明書

50V型 デジタルフルハイビジョン Wチューナー液晶テレビ



LED LEDバックライト搭載

EPG
電子番組表

HDMI
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この度は弊社製品の液晶テレビをお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。

■ご使用の前に必ずこちらの取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分理解された上で正しくご使用ください。

特に「はじめに」の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」は、液晶テレビをご使用前に必ずお読みになり正しくお使いください。

■お読みになられた後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

※本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等、必要項目の記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。

もくじ



安全上のご注意		P3・4
付属品		P5
スタンドの組み立て方		P5
各部の説明		P6・7
リモコンの説明		P8・9
テレビを見るための準備	<ul style="list-style-type: none"> ・miniB-CASカードを挿入する…………… ・アンテナの接続…………… ・はじめての設定…………… ・アンテナの方向調整と設定…………… 	P10 P11 P12・13 P14・15
テレビを見る	<ul style="list-style-type: none"> ・放送の種類…………… ・リモコンの基本操作…………… 	P16 P17~19
番組表を使う	<ul style="list-style-type: none"> ・番組表を見る…………… 	P20・21
インターネットを利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用するための接続をする…………… ・通信設定…………… 	P22 P23~25
データ放送を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・dデータを使う…………… 	P26・27
録画・予約/再生	<ul style="list-style-type: none"> ・注意事項…………… ・USBハードディスクについて…………… ・録画機能について…………… ・録画の準備をする…………… ・録画・予約をする…………… ・録画した番組を再生・保護・削除する…………… 	P28 P29・30 P31 P32 P33~37 P38~41
メニューボタンでできること	<ul style="list-style-type: none"> ・映像設定…………… ・音声設定…………… ・タイマー機能…………… ・画面サイズ切換／番組表やスピーカー切換など…………… ・その他の操作…………… 	P42 P43 P44 P45 P46・47
各種設定	<ul style="list-style-type: none"> ・機能設定…………… ・外部機器設定…………… ・初期設定…………… 	P48~50 P51~53 P54~57
外部機器と接続する	<ul style="list-style-type: none"> ・接続のしかた…………… 	P58
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の情報…………… 	P59
故障かも・・・と思ったら		P60~62
製品仕様		P63


安全上のご注意


ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。


絵表示について

















この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。













	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例  注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。




 禁止の行為であることを告げるものです。








 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

 警告	
	交流100V以外の電源で使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源コードに重いものを載せない 火災・感電の原因となります。
	不安定な場所、振動のある場所、落下の恐れがある場所におかない 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源プラグについた埃などは定期的に取り除く 火災・感電の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因となります。
	水が入るような使い方はしない、水をかけない 火災・感電の原因となります。
	異物を入れない 後ろ側の通風孔などからものを入ると、火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
	テレビの上に花瓶など、液体の入った容器を置かない 液体がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない 感電の原因となります。
	電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、加熱するなどしない そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	分解や改造をしない 内部には電圧の高い部分があるため感電の原因となります。
	可燃性のものが周囲にあるところへ設置しない カーテン、絨毯、毛布、カバークロス、衣服、新聞紙等の紙、埃などに注意してください。火災・感電の原因となります。
	煙、異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	内部に水や異物が入った時は、電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 注意	
	タコ足配線をしない 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグは確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	配線が接続されている状態でテレビを移動させない 配線が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	お手入れや、長期間使用しないときは、電源プラグを外す 火災・感電の原因となることがあります。
	通風孔をふさがない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない コードの皮膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。
	風通しの悪いところや密閉した棚や台などに設置しない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	重いものを上に置いたり、乗ったりしない 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。とくにお子様にはご注意ください。
	液晶画面に衝撃を加えない 液晶画面のパネルが割れることがあります。
	酸性・揮発性の強い洗剤・溶剤を使用して掃除しない 本体が溶けることがあります。

〈電池についての安全上のご注意〉

 警告	
	電池は乳幼児の手の届く場所に置かない 電池を飲み込むと、窒息することがあります。また消化器官内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。飲み込んだときには、ただちに医師に相談してください。
	電池が液漏れしたときは素手でさわらない ・漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ・皮膚に付着した場合は、炎症など傷を負う可能性があります。 ⇒炎症などの症状が出た場合は、ただちに医師に相談してください。

 注意	
	電池を加熱したり、火の中に投げない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は分解しない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は正しい向きに入れる 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	指定以外の電池を使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池を使い切ったときや、長時間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

安全上のご注意

知っておいていただきたいこと

電磁波妨害にご注意ください

製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間の干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生することがあります。

画面の焼き付きについて

静止画など長時間同じ画面を表示し続けたり、16:9の映像を画面比率4:3で長時間ご覧になったりすると、液晶パネルに焼き付きが生じることがありますのでご注意ください。視聴時にはフルスクリーンでのご視聴をお勧めします。

直射日光・熱気は避けてください

窓を閉め切った自動車の車内など異常に温度が高くなるところに放置をすると、キャビネットが変形したり、故障の原因となるおそれがあります。

直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度変化がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

急激な温度変化がある部屋（場所）でのご使用は表示品質が低下する場合がありますのでご注意ください。

長時間ご使用にならない場合

長時間ご使用にならないと機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて作動させてください。

製品本体および付属品廃棄の場合

各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

本体が熱くなる場合があります

長時間使用すると、熱を逃がすために本体が熱くなる場合があります。ご注意ください。

国外では使用できません

この製品が使用できるのは日本国内だけです。国外では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

キャビネットにはプラスチックが多く使用されています。
ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると変質し、塗料がはげる場合がありますので使用しないでください。

殺虫剤など、揮発性のものを使用しないでください。また、ゴムやビニール製品などを長い時間接触させたままにしないでください。
プラスチックに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げをしてください。

電源・電圧について

指定の電源電圧以外では使わないでください。指定以外の電源電圧を使用した場合は故障の原因となります。

取り扱い上のご注意

液晶パネルを強く押ししたり、落としたり叩くなどの強い衝撃を与えないでください。
液晶パネルが割れ、けが、故障の原因となり危険です。
振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。故障の原因となります。

B-CASカードの抜き差しについて

地上デジタル放送は著作権保護のため B-CAS カードを挿入していないとスクランブルがかかり視聴することができません。
B-CAS カードは必要のない限り、抜かないでください。B-CAS カードには IC チップが内蔵されていますので、折り曲げたり、
衝撃を与えたり、端子部に触れたりしないようにしてください。B-CAS カードは正しい向きでしっかりと挿入してください。

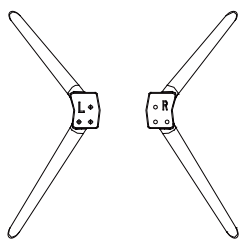
アンテナについて

妨害電波受信の影響を避けるため、交通の頻繁な道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。

アンテナ線を不必要に長くのばしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になるおそれがあります。

アンテナは風雨にさらされるため、定期的な点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧いただけます。
特に煤煙の多いところや潮風にさらされる場所では、アンテナが痛みやすくなります。

付属品



スタンド×2 個



スタンド取付用ネジ(大)× 6本



リモコン×1個



取扱説明書(本書)×1部



単4形乾電池×2本(動作確認用)



mini B-CASカード×1枚



保証書×1枚

スタンドの組立方

プラスドライバー (市販品) をご用意ください。

1.本体にスタンドを取り付けます。

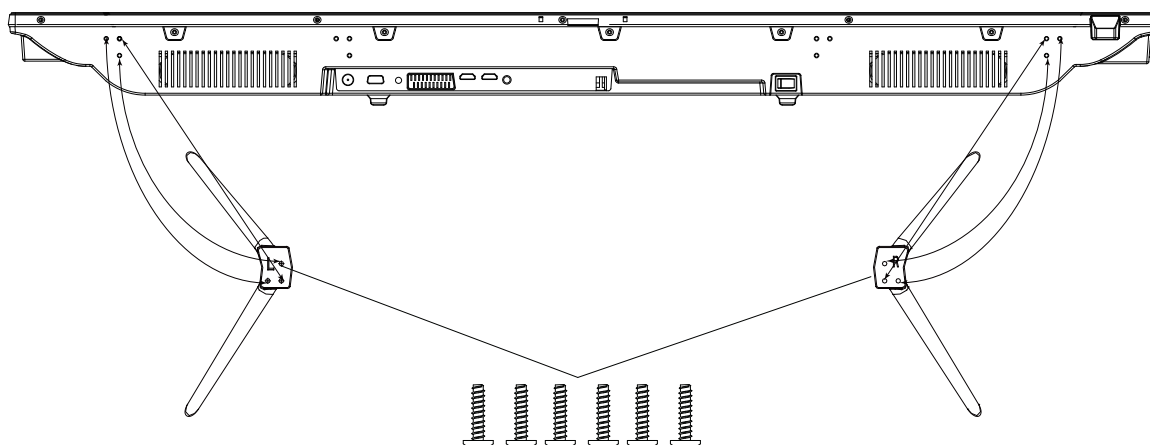
2.スタンド裏側から2箇所をネジでとめます。

※スタンドを組み立てる際は、毛布など厚手の柔らかい布を敷いた上で行ってください。

※ネジは付属品です。

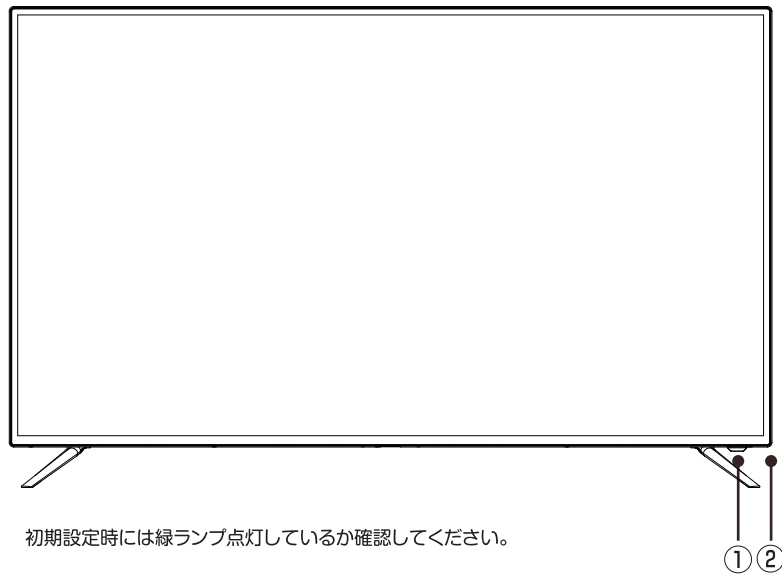
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。

【本体底面】

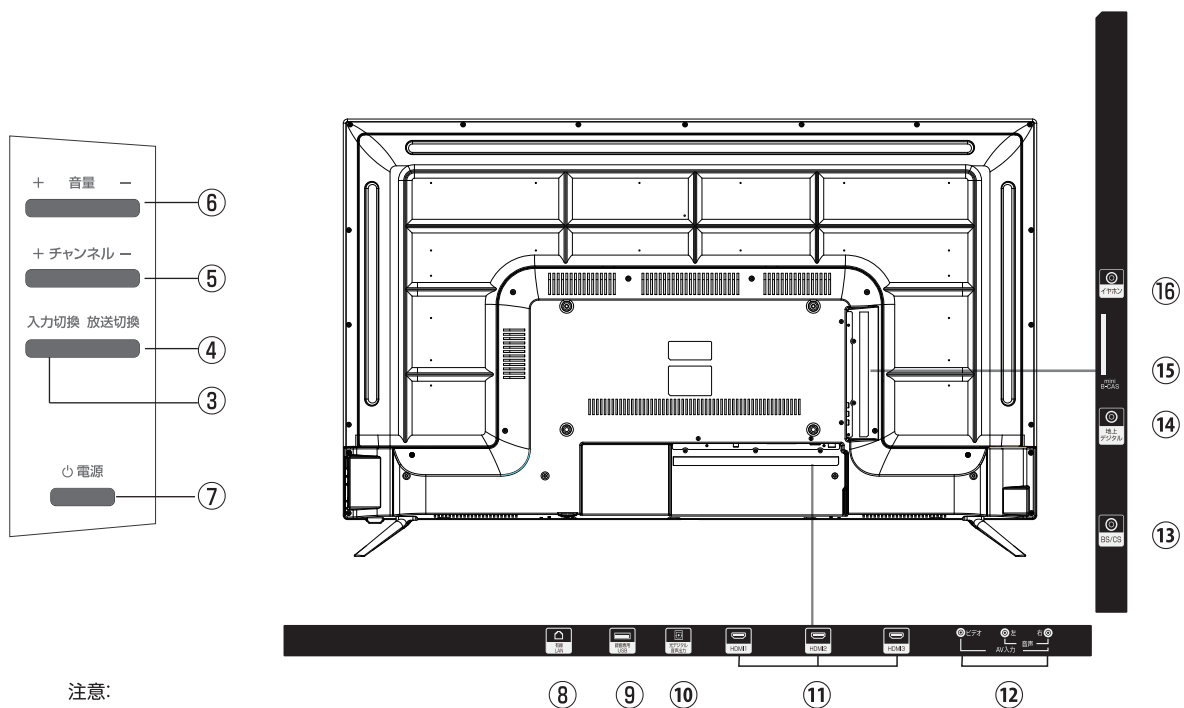


各部の説明

【本体前面】



【本体背面】



注意:

- ①、初期設定時は電源をONにしてください。
- ②、電源入力時は緑ランプが点灯いたします。

●VESA規格

MIS-D 300,400,4

※壁掛け金具の取り付けは、必ず専門業者にご依頼ください。

※専門業者以外の方が取り付けて、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。

各部の説明

① 電源表示ランプ

緑色点灯：電源がオンのとき
赤色点灯：リモコンで電源をオフにしたとき（スタンバイ状態）
橙色点灯：録画中のとき

② リモコン受信部

リモコンの信号を受信する部分です。
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

③ 入力切換

ボタンを押すごとに地デジ、HDMI1、HDMI2、HDMI3、ビデオの順で入力切換をおこないます。

④ 放送切換

地上デジタル・BS・CS放送を切換えます。

⑤ チャンネル+ チャンネルー

チャンネルの選択に使用します。

⑥ 音量+ 音量ー

音量の調整に使用します。

⑦ 電源

電源のオン/オフに使用します。

⑧ 有線LAN端子

有線LANケーブル（市販品）を接続します。

⑨ 録画専用USB端子

USBハードディスク（市販品）を接続します。

⑩ 光デジタル音声出力端子

AVアンプ（市販品）等に接続します。

⑪ HDMI1/2/3 入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。

⑫ AV入力端子

AVケーブル（市販品）を接続します。

⑬ BS/CSアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑭ 地デジアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑮ mini B-CASカード挿入口

mini B-CASカードを挿入します。（☞11ページ）
カードの向きにご注意ください。

⑯ イヤホン出力端子

イヤホン/ヘッドホン（市販品）を接続します。

リモコンの説明

※リモコンは本体受信部から3メートル以内、上下左右30度以内でご使用ください。

	電源	電源をオン/オフにします。
	消音	一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。
	1 ~ 12	チャンネルを直接選ぶことができます。 また、文字の入力に使用します。
	dデータ	データ放送の画面に切り換えます。
	字幕	受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。
	音声切換	2カ国語放送や、音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます。 ※放送によっては音声言語が切り換えられない場合があります。
	録画リスト	録画リストを表示します。
	画面サイズ	画面サイズを切り換えます。
	番組説明	番組視聴中にボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。
	ミニ番組表	番組視聴中にボタンを押すと、画面下部に番組表が表示されます。
	録画	録画を開始する時に押します。
	再生	録画データの再生をします。
	停止	再生中の録画データの停止をします。
	一時停止	録画データの一時停止をします。
	10秒戻	録画データ再生中に押すと、10秒程戻って再生します。
	早戻し	再生中の録画データの早戻しをします。
	早送り	再生中の録画データの早送りをします。
	30秒送	録画データ再生中に押すと、30秒程先に進んで再生します。
	青・赤・緑・黄	設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。



リモコンの説明



メニュー

メニュー

設定メニュー画面を表示します。



戻る

戻る

表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。



静止

静止

映像画面のみを静止します。



終了

終了

メニュー画面、入力切換、画面表示、番組表などを消したい時に押します。



入力切換

入力切換

ボタンを押すごとに地デジ・HDMI1・HDMI2・HDMI3・ビデオの順で入力切換をおこないます。



画面表示

画面表示

現在の受信チャンネル情報を表示します。



番組表

番組表

現在放送している番組から、それ以降に放送予定の番組一覧表が表示されます。



地デジ

地デジ

地上デジタル放送への切換えができます。



BS

BS

BS放送への切換えができます。



CS

CS

CS放送への切換えができます。



3桁入力

3桁入力

チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択することができます。



+

音量

-

音量

音量の調整に使用します。

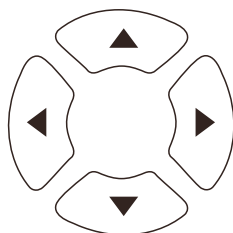


チャンネル

↓

チャンネル

チャンネルの切り換えに使用します。



方向ボタン

メニュー内でカーソルを動かしたり項目を選択します。



決定

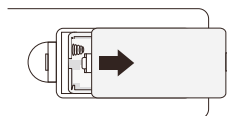
決定ボタン

選択した項目を決定します。

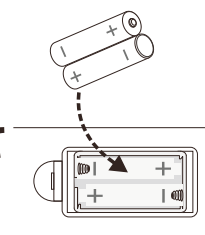
電池の入れ方

※リモコンには単4形乾電池2本が必要です。

1. リモコン背面の電池カバーを取り外してください。



2. 電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。

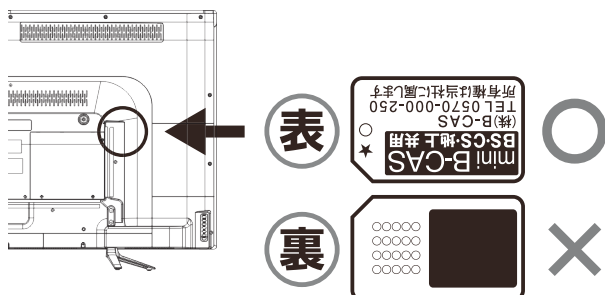


1.mini B-CASカード台紙に記載の文面をよくお読みください。

※パッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

2.内容に同意の上でmini B-CASカードを台紙からはずします。

3.テレビ本体の電源がオフになっていることを確認し、mini B-CASカードを正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。



※mini B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。

※mini B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。

※mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。

故障や破損の原因になります。

※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

B-CASカードを入れる

テレビ本体の電源をオフにして、mini B-CASカードを一度押してから、ゆっくりと抜いてください。

mini B-CASカードの取り扱いについて

- ・mini B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- ・mini B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- ・裏の端子面には触れないでください。
- ・分解・加工はしないでください。
- ・破損などによりmini B-CASカードの再発行を依頼する場合は費用が必要です。
詳しくは、mini B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

mini B-CASカードについてのお問い合わせ先

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL: 0570-000-250 (2016年3月)

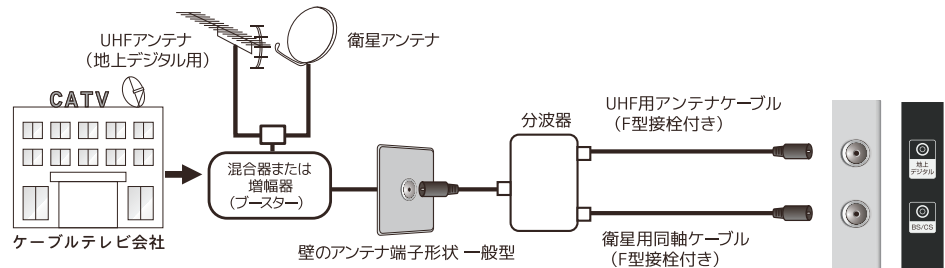
- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ（地上デジタル用）が必要です。
- BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。

※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

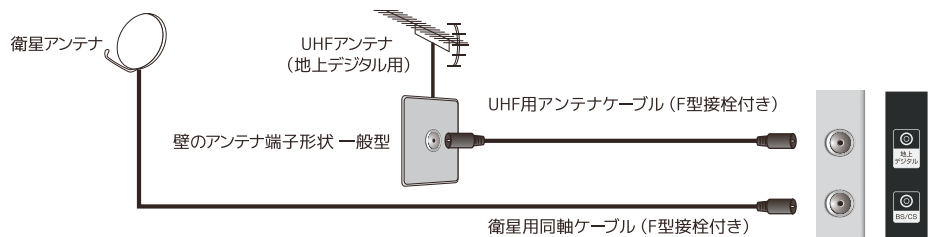
1.アンテナと本機をつなぎます。

アンテナ線で、壁などのアンテナ端子と本製品のアンテナ入力端子を接続します。

地上デジタル放送と
BS/110度CSの放送
信号が混合されてい
る場合

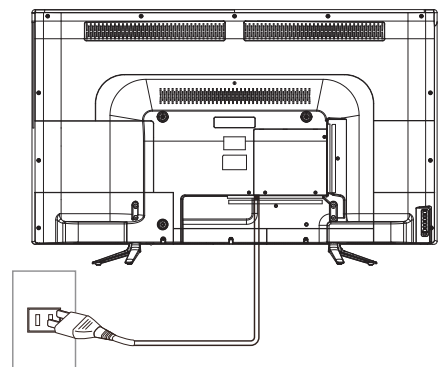


地上デジタル放送と
BS/110度CSの放送
信号が個別の場合



2.プラグをコンセントに接続します。

3.本体裏面『電源』ボタンもしくはリモコンの『電源』ボタンを使って電源をオンにします。



壁などのコンセント

※アンテナ線は、工具などを使って締め付け過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。

※本製品にアンテナ線は付属していません。

※図は接続の略図です。実際の接続部とは多少、異なることがあります。

※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。

※リモコンを使用する際は、リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。

※電源を入れてから画面が映るまでに数十秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

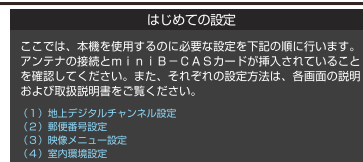
開封後、はじめて電源を入れた時、自動的にはじめての設定画面が表示されます。

1.電源をつける

コンセントを差し込み、本体またはリモコンの『電源』ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、本体左下の電源ランプが緑色に点灯します。

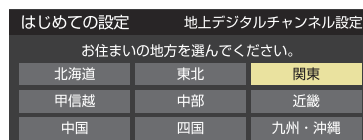
2.はじめての設定

アンテナ接続とmini B-CASカードが挿入されていることを確認してから『決定』ボタンを押します。



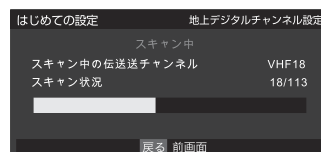
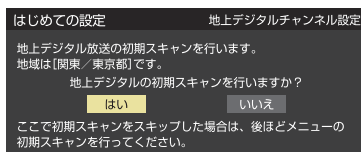
3.都道府県設定

地上デジタル放送チャンネル設定画面で、お住まいの地方、都道府県、地域、を方向ボタンで選び、『決定』ボタンを押します。



4.初期スキャン

『方向』ボタン◀▶で『はい』を選び、『決定』ボタンを押すと、初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくおまちください。



5.受信チャンネルリストの確認

スキャン完了後、受信したチャンネルを確認し、『決定』ボタンを押します。

リスト	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHK Eテレ東京
3	テレビ	テレビ玉
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS
7	テレビ	テレビ東京
8	テレビ	フジテレビジョン
9	テレビ	TOKYO MX
10	---	
11	---	
12	テレビ	放送大学

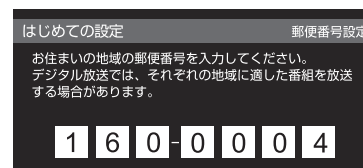
6.郵便番号設定

郵便番号の設定画面が表示されるので、住まいの郵便番号をリモコンの『数字』ボタンで入力し、『決定』ボタンを押します。

※間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。

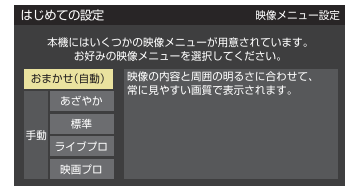
※郵便番号入力で、上3桁を入力して決定ボタンを押すと、残りの4桁は自動的に『0』が入力されます。

※お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴したりするための設定です。



7.映像メニュー設定

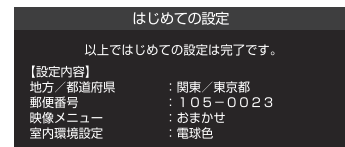
郵便番号の設定が完了すると、映像モードを選択する画面が表示されます。
『方向』ボタンでお好みの映像モードを選び『決定』ボタンを押します。



8.設定完了

設定内容を確認して『決定』ボタンを押します。以上ではじめての設定は完了です。

※『はじめての設定』をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買上げの販売店などにご相談のうえ、アンテナの方向調整をしてください。



本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ（地上デジタル用）が必要です。
 - BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
 - 衛星アンテナには電源供給が必要です。また、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器・分波器は、全端子電流通過型をご使用ください。
 - 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
 - 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダー等を接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へアンテナ線を接続してください。レコーダー等の接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。
- ※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

地上デジタル放送の受信方法

- 屋外アンテナの場合
アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混同アンテナになっているかを確認してください。
詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。
- ケーブルテレビの場合
ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかを確認してください。伝送方式が不明な場合は、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

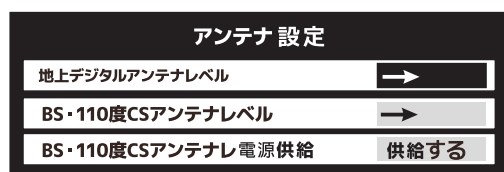
地上デジタル・BS・CS放送の受信強度の確認

- 50%未満の場合
電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。
- 50%以上でも映らない場合
アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか再度確認し、チャンネルの再設定をしてください。

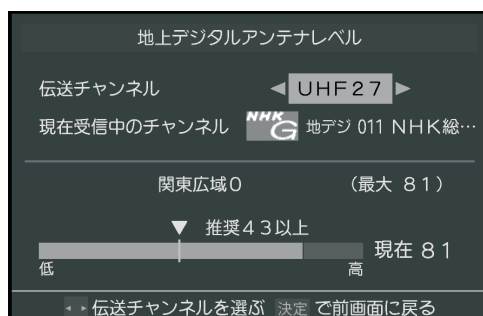
地上デジタルアンテナレベル

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『初期設定』→『アンテナ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

2. 『方向』ボタン▲▼で『地上デジタルアンテナレベル』を選択し、『決定』ボタンを押します。



3. 『方向』ボタン◀▶で『伝送チャンネル』を選択し、お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている転送チャンネルを選んでください。



4. アンテナをゆっくり動かして『アンテナレベル』の数値が最大となるように調整します。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

5. アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

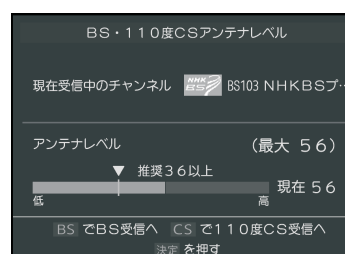
6. アンテナ設定を終了するときにはリモコンの『終了』ボタンを押します。

BS・110度CSアンテナレベル

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『初期設定』→『アンテナ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。



2. 『方向』ボタン▲▼で『BS・110度CSアンテナレベル』を選択し、『決定』ボタンを押します。



※受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。表示される数値は受信C/Nを換算したものです。

3. 『BS』ボタンまたは『CS』ボタンを押して、放送の種類を選択します。

4. 契約しているチャンネル、または無料チャンネルをチャンネル切換ボタンで選択します。

5. アンテナをゆっくり動かして『アンテナレベル』の数値が最大となるように調節する画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定した後にレベル値が下がっていないことを確認してください。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

6. アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。
※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

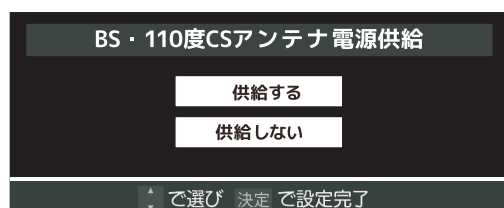
7. アンテナ設定を終了するときにはリモコンの『終了』ボタンを押します。

BS・110度CSアンテナ電源供給

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『初期設定』→『アンテナ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。



2. 『方向』ボタン▲▼で『BS・110度CSアンテナ電源供給』を選択し、『決定』ボタンを押します。



3. 『方向』ボタン▲▼で『供給する』または『供給しない』を選択し、『決定』ボタンを押します。

4. アンテナ設定を終了するときはリモコンの『終了』ボタンを押します。

<地上デジタル放送>

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

<BSデジタル放送>

BSデジタル放送とは、放送衛星（Broadcasting Satellite）を使った、デジタル信号によるテレビやラジオの放送です。『WOWOW』『スターチャンネル ハイビジョン』等の有料放送は加入申し込みと契約が必要ですが、視聴条件が無料のチャンネルは申し込み等は不要で、アンテナなどのセッティングが完了すれば視聴可能になります。NHK BS1、NHK BSプレミアムは視聴可能ですが、視聴契約をしないと画面上にメッセージが表示されます。(2016年11月現在)

<110度CSデジタル放送>

110度CSデジタル放送とは、通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュースやスポーツ、映画、音楽等の専門チャンネルがあります。

一部を除き有料で、受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

おもなサービスに『スカパー!』があり、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

『スカパー!』へは加入申し込みと契約が必要です。(2016年11月現在)

お問合せ先

WOWOW

公式HP：<http://www.wowow.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-580-807（受付時間 9:00 ～ 20:00 年中無休）

スターチャンネル

公式HP：<http://www.star-ch.jp/>

カスタマーセンター：0570-013-111 または、044-540-0809

（受付時間 10:00 ～ 18:00 年中無休）

スカパー!

公式HP：<http://www.skyperfectv.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-211-855（受付時間 10:00 ～ 20:00 年中無休）

電源をつける 電源

コンセントを差し込み、本体またはリモコンの『電源』ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、本体左下の電源ランプが緑色に点灯します。

※電源ボタンを押してから画面が映るまでに十数秒かかります。
画面が表示されるまでお待ちください。

消す 電源

もう一度『電源』ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

チャンネルを変える 1 ~ 12

①『数字』ボタンで、見たいチャンネルを直接選択することができます。
※チャンネル表示は数秒で消えます。

② 本体の『チャンネル+/-』ボタンもしくはリモコンの『チャンネル+/-』ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。

③『3桁入力』ボタンを押し、数字ボタンでチャンネルを選び、『決定』を押すと直接チャンネルを選局できます。例) チャンネルの『023』を選局するときは、数字ボタン『10』⇒『2』⇒『3』を順に押します。

音量を調整する + 音量 -

本体またはリモコンの『音量+/-』ボタンを押すと、音量を調整することができます。

消音する 消音

『消音』ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

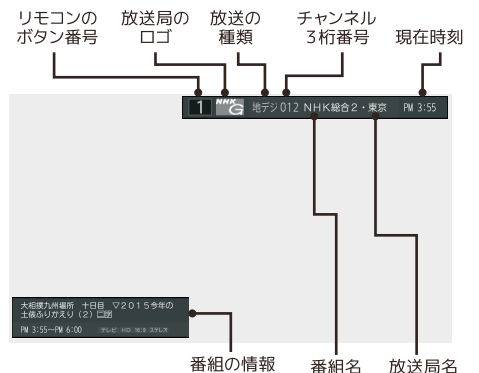
画面表示 画面表示

『画面表示』ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。表示を消すには、もう一度『画面表示』ボタンを押します。

※一定時間後、画面下部の表示が消えて上部の表示だけになります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



入力切換 入力切換

ボタンを押すごとに地デジ・HDMI1・HDMI2・HDMI3・ビデオの順で入力切換をおこないます。

※1 番上は現在視聴しているチャンネルが表示されます。



地デジ 地デジ /BS BS /CS CS

リモコンの『地デジ』『BS』『CS』ボタンを押すと、地デジ、BS、CSの放送を視聴することができます。

3桁入力 3桁入力

『3桁入力』ボタンを押し、『数字』ボタンで直接チャンネルを選局することができます。

例) チャンネルの『023』を選局するときは、『数字』ボタン『10』→『2』→『3』を順に押します。

音声切換 音声切換

音声切換ボタンを押すたびに別の音声に放送されている音声を切り換えます。 ※放送によって音声切換できない場合があります。

画面サイズ 画面サイズ

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

番組説明 番組説明

番組視聴中に『番組説明』ボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。もう一度『番組説明』または『決定』ボタンを押すと終了します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



字幕 字幕

字幕のある番組のときに、字幕の表示、非表示を切り換えることができます。 ※字幕ボタンを押すたびに字幕オン/ オフに切り換えます。

(例)

字幕オフ

- ※字幕放送に対応している放送の番組でのみ利用することができます。
- ※映像自体に字幕が表示されている場合は『字幕オフ』に設定しても字幕が表示されません。
- ※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。
- ※受信している放送によって表示が異なる場合があります。

ミニ番組表 ミニ番組表

番組視聴中に『ミニ番組表』ボタンを押すと、画面下部に番組表が表示されます。もう一度『ミニ番組表』または『終了』ボタンを押すと終了します。

番組表の表示 番組表

番組表を見ることができます。詳細は [21・22ページ](#) をご覧ください。
もう一度『番組表』を押すとミニ番組表に切り換わります。
『終了』ボタンを押すと終了します。

静止 静止

『静止』ボタンを押すと映像を一時停止します。解除するには再度『静止』ボタンを押します。一時停止中、音声は流れ続けます。

録画リスト 録画リスト

リモコンの『録画リスト』ボタンを押すと、録画した番組を確認することができます。録画リストを表示中にリモコンの『メニュー』ボタンを押すと、下記の項目が設定できます。

再生設定	『1コンテンツリピート』『リピート』『オフ』から設定できます。
並べ替え	『新しい順』『古い順』を設定できます。
保護	操作手順はP40をご覧ください。
自動削除設定	操作手順はP41をご覧ください。
番組説明	画面に番組内容が表示されます。
連ドラ予約	連ドラ予約ができます。
機器選択	機器の選択をします。
機器の情報	ハードディスクの情報を表示します。
ハードディスク残量表示	ハードディスクの残量を表示します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

⚠ 注意

画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。お買上げ後はじめて使用するときや、長期間電源ケーブルを抜いていた時などは、すぐに番組表が表示されない場合がありますが、異常ではありません。本機がスタンバイ（電源LEDランプが赤点灯）状態のとき1日数回番組表データを取得します。

※主電源を切ると番組表は一旦クリアされますが、起動後に時間情報が取得できると番組表が表示されます。

番組表を見る

番組表

①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。

②視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。放送の種類を変更するにはリモコンの『地デジ』『BS』『CS』のいずれかを押します。



※番組表を消すには、リモコンの『戻る』または『終了』を押します。

視聴予約を設定する

番組表

番組表で視聴予約に設定した番組に自動で切り換えます。

- ①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタンで予約したい番組表を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③番組内容を確認して『視聴予約』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④番組表の画面で予約した番組のボックスにチェックマークが付きます。

視聴予約を取消す

- ①予約した番組を選び、『決定』ボタンを押します。
- ②『予約を取消しますか?』の画面が表示され、『はい』を選択し『決定』ボタンを押すと、視聴予約が取り消されます。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



LE-5040TS

番組表を見る

カラーボタンでできること



青：日時の切換ができます。

緑：番組検索ができます。検索内での文字入力方法は下記をご覧ください。

黄：予約リストを確認できます。

【文字入力方法】

文字の入力	リモコンの数字ボタン『1』～『10』※ボタンを押すたびに次の文字に変わります。
入力モードの切換	リモコンの『画面表示』
文字の削除	リモコンの『メニュー』
漢字変換	リモコンの方向ボタン▲▼
漢字変更範囲変更	リモコンの方向ボタン◀▶
確定	リモコンの『決定』ボタン

番組表のメニューボタンでできること



番組表の表示中にリモコンの『メニュー』ボタンを押すと下記の項目が選択できます。

番組説明	画面に番組内容が表示されます。
番組情報の取得	番組情報の取得をします。
マルチ表示 1チャンネル表示	BSデジタル放送や地上デジタル放送では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1チャンネル表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切り換えができます。
文字サイズ変更	文字の大きさを『大きく』『やや大きく』『普通』『やや小さく』『小さく』から選ぶことができます。
ジャンル色分け	特定の色に番組のジャンルを振り分けることができます。ジャンル別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
番組記号一覧	番組表に表示されている各記号が示す内容を確認できます。
番組表表示設定	『表示チャンネル数設定』『表示時間数設定』『チャンネル並び順設定』『番組概要表示設定』『地デジ表示設定』を設定することができます。
予約リスト	予約している番組を確認することができます。
テレビ/ラジオ/ データ切換	放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。

使用するボタン

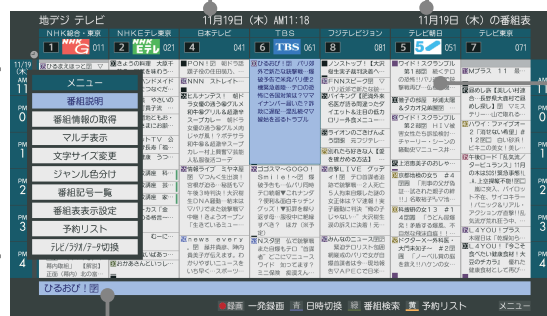
白い箇所が使用するボタン



番組表の見方

現在日時表示

選択している番組枠の日にち



時間が表示されます。

選択している番組枠の情報が表示されます。

チャンネルが表示されます。

◀▶ でほかのチャンネルに移動します。

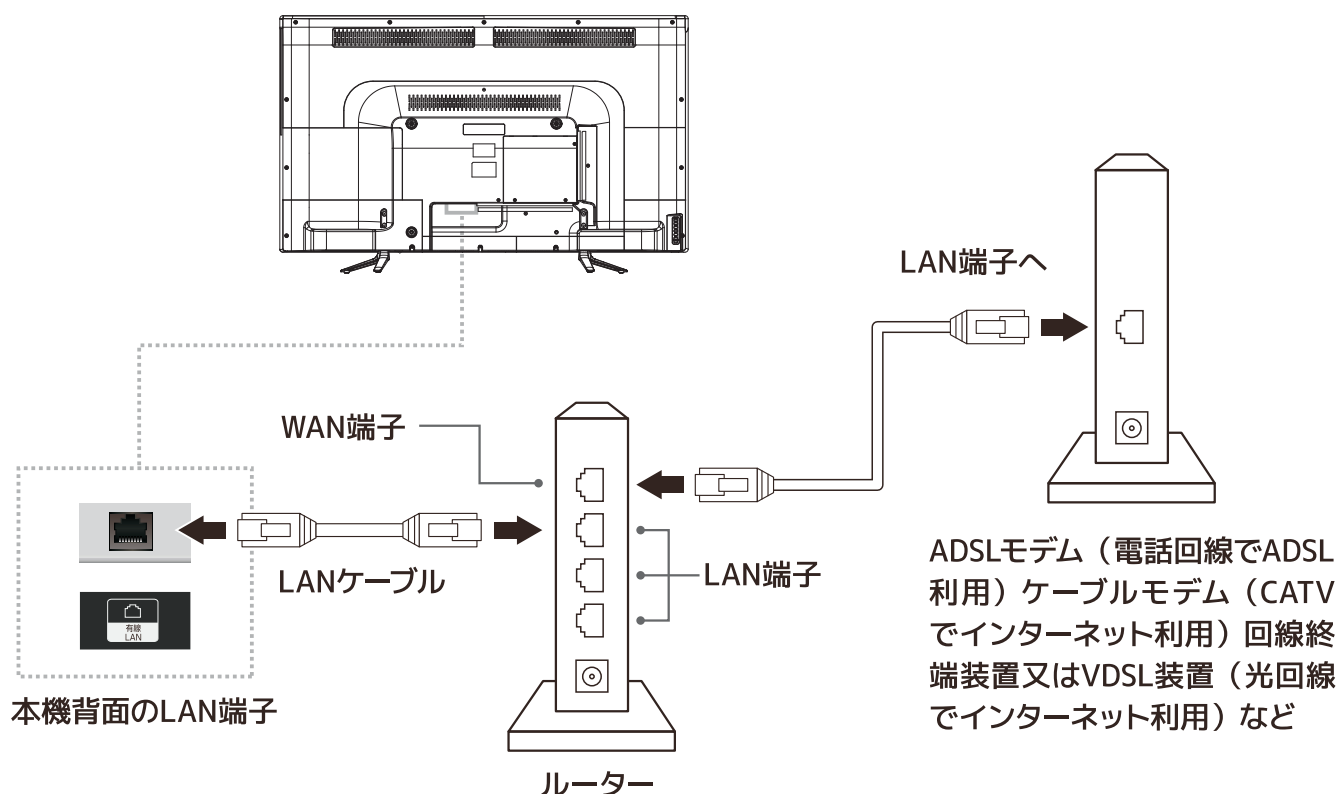
データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。 ※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。

【接続する前に】

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。

ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

- ・ はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー（ネット接続業者）か通信業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- ・ 接続完了後、必要に応じて『ネットワーク設定』を行ってください。
- ・ すでにインターネットをご利用の場合ルーター LAN端子と本機背面のLAN端子をLANケーブルで接続してください。『ネットワーク設定』は必要ありません。



※本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。

※本機はISDN回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。

※取扱説明書に図示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。

※ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、正常に作動しないことがあります。

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。通信設定はLAN端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『初期設定』→『通信設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

初期設定	
IPアドレス設定	自動取得
プロキシ設定	自動取得
DNS設定	使用する
MACアドレス	→
接続テスト	→

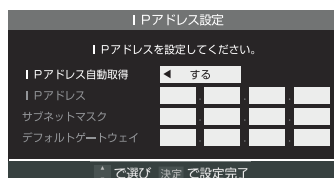
IPアドレス設定

インターネットに接続するために本機で割り当てられる固有の番号を設定します。

【IPアドレスを自動取得する場合】

①『IPアドレス設定』を選択し、『決定』ボタンを押します。

②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス自動取得を『する』にして『決定』を押します。



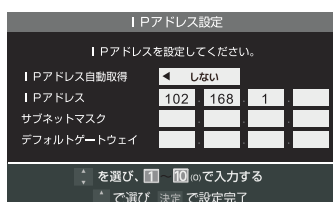
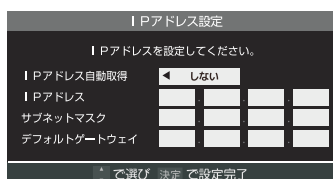
【IPアドレスを手動で取得する場合】

①『IPアドレス設定』を選択し、『決定』ボタンを押します。

②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス自動取得を『しない』を選びます。

③方向ボタンで『IPアドレス』『サブネットマスク』『デフォルトゲートウェイ』をそれぞれ選び、数字ボタンで番号を入力します。

※方向ボタン◀で訂正します。



使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



次ページへ続く→

IPアドレス設定〈つづき〉

④リモコンの『決定』ボタンを押して設定が完了です。

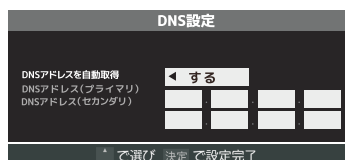
IPアドレス	IPでネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号です。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ	所属するLANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入り口の役割を果たすように設定されたルータやコンピュータのことです。

DNS設定

ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

【DNSアドレスを自動取得する場合】

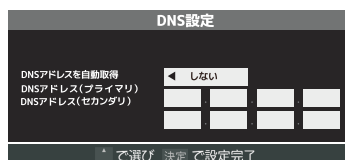
①『DNS設定』を選択し、『決定』ボタンを押します。



②『方向』ボタン◀▶でDNSアドレス自動取得を『する』にして『決定』を押します。

【DNSアドレスを手動で取得する場合】

①『DNS設定』を選択し、『決定』ボタンを押します。



②『方向』ボタン◀▶でDNSアドレス自動取得を『しない』を選びます。

③方向ボタンで『DNSアドレス(プライマリ)』『DNSアドレス(セカンダリ)』をそれぞれ選び、『数字』ボタンで番号を入力します。※方向ボタン◀で訂正します。



④リモコンの『決定』ボタンを押して設定が完了です。

DNSアドレス(プライマリ)	管轄するドメインのメインとなるDNSサーバーです。
DNSアドレス(セカンダリ)	プライマリDNSサーバの内容を複製したものです。

使用するボタン

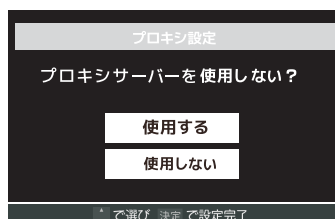
白い箇所が使用するボタン



プロキシ設定

インターネットとの接続時にプロキシ（代理）サーバーを経由する場合に設定します。ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定してください。

①『プロキシ設定』を選択し、『決定』ボタンを押します。



②『方向』ボタン▲▼でプロキシサーバーを『使用する』または『使用しない』を選び、『決定』ボタンを押します。

MACアドレス

ネットワーク上に繋がっている機器を識別する為に本機に割り当てられている番号です。『MACアドレス』を選択し、『決定』ボタンを押すとMACアドレスが確認できます。



接続テスト

『接続テスト』を選択し、『決定』ボタンを押すと、インターネットの接続テストを実行します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



<データ放送とは>

データ放送には2つの種類があります

- ・連動データ放送

テレビ放送チャンネルで提供されているデータ放送です。

- ・独立データ放送

地デジのGガイドや、BS/CSチャンネルで番組案内、ニュース、天気予報など、独立したチャンネルとして放送される番組です。

<連動データ放送を楽しむ>

- ・一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することができます。
- ・テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

<デジタル放送の双方向サービスとは>

- ・インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。（本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません。）
- ・地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

<双方向サービスについてのお知らせ>

- ・双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- ・双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- ・双方向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- ・双方向サービスをご利用時、通信がすぐにできず、次の操作まで時間がかかる場合があります。
- ・テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント等の情報が更新できないことがあります。

デジタル放送の番組視聴中に『dデータ』ボタンを押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。もう一度『dデータ』ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

リモコンの『方向』ボタンと『決定』ボタンで操作することができます。また、リモコンのカラーボタン『青・赤・緑・黄』で、データ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。

(画面に表示された色と同じリモコンのカラーボタンで選択します。)

※放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

※放送画面の操作説明などで『dデータ』ボタンは『データボタン』『データ放送ボタン』と表示される場合があります。

※本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。



※各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ違いますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



LE-5040TS

<ラジオ・独立データ放送を楽しむ>

- ① デジタル放送を観ている時に『メニュー』ボタンを押します。
- ② 『方向』ボタン▲▼で『その他の操作』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③ 『方向』ボタン▲▼で『テレビ/ラジオ/データ切換』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④ 切り換えたい項目を『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

※放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。

※切換後、画面に表示されるまでに時間がかかることがあります。

- ・最大64番組の録画予約が可能です。
- ・1つのハードディスク(HDD)には約1000件の録画が可能です。
- ・最大1番組録画時間は23時間59分です。
- ・録画時間の目安は、500GBのHDDで地デジ約50時間です。(番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。)
- ・本製品で利用できるHDDの容量は3TBまでです。データ転送方式がUSB2.0以上のものをご使用ください。
- ・何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。
- ・ビデオやHDMIなど外部入力映像などを記録することはできません。テレビ放送のみ録画可能です。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどでの使用や視聴はできません。
- ・録画中は、すでに録画した番組を再生することはできません。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。それ以上先の録画予約はできません。
- ・同じ時間帯には1番組しか録画できません。
- ・本機ではじめて録画する場合、試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴する事が出来ます。同機種であっても視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - 録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

- ・USBにて接続するハードディスクを本製品ではじめてご使用になる場合は、本機へ接続して初期化をおこなってから使用してください。※パソコンなどのデータがある場合は消去されてしまいますのでご注意ください。
- ・はじめて使用するハードディスクの場合、正しく初期化が行われない場合があります。その際は、もう一度初期化を行ってください。
- ・ハードディスクに録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・本機へ接続してからハードディスクを認識するまで最大1分ほど時間が掛かる場合があります。
- ・本機で使用したハードディスクは、本機でのみ再生・録画ができます。
- ・本機で使用したハードディスクを本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、同製品へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
- ・本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、ハードディスクの初期化を行ってください。
- ・バスパワータイプのポータブルハードディスク（USB端子だけ付いているもの）は使用できません。
- ・USBフラッシュメモリやカードリーダーを使用したメモリーカードなどは使用できません。
- ・Flash-SSD（ソリッドステートドライブ）は使用できません。
- ・ハードディスクを使用中（アクセス中）に本製品から取り外すと、ハードディスクが破損したり、以降の録画や再生が正常におこなえなくなる事がありますのでご注意ください。
- ・ハードディスクを取り外す場合には設定から『取り外し』を選択してから接続USB端子を抜いてください。
- ・USBハブを使用する場合、セルフパワーUSBハブをご使用ください。
- ・USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。本機に登録できる最大USBハードディスク数は8台です。ただし同時に接続できるのは4台までです。
- ・動作確認済USBハブは次の通りです。【アイ・オー・データ機器 USB2-HB4R】【バッファロー BSH4A01シリーズ】
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多少ズレる場合がありますのでご了承ください。
- ・USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。
- ・録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。
- ・物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。
- ・テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないでください。磁気を近づけないでください。
- ・電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- ・高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。高温になる場所で使用すると故障の原因となりますので、風通しの良い場所に設置してお使いください。
- ・本機やハードディスクの電源を正しく切らなかった場合、ハードディスクに録画されているすべての番組が視聴できなくなる場合があります。
- ・録画した番組に対する保証は致しかねますので、予めご了承ください。

- ・ USBハードディスクの最大予約件数は64件です。最大総番組数は1000件です。
- ・ 本機に接続したUSBハードディスクは、容量に関わらず、残容量が1GB未満もしくは1%未満になった場合は録画できません。

USBハードディスクの自動削除機能について

- ・ 録画番組数が1000件を超える場合や、ハードディスクの残容量が1GB未満もしくは1%未満になった場合に、録画開始に自動的に録画番組を削除する機能です。
- ・ 録画日付の古い順に、再生済みの番組が自動的に削除されます。
- ・ 再生済みの番組を削除してもハードディスクの残容量が不足している時は、録画日付の古い順に、再生していない番組が削除されます。
- ・ お買上げ時には、USBハードディスクの【自動削除設定】が【削除する】に設定されています。
- ・ 録画番組が自動的に削除されないようにする場合は、【自動削除設定】を【削除しない】に設定するか、又は録画番組を保護してください。(☞ 40・41 ページ)

録画可能時間の目安

(例)500GB の USB ハードディスクの場合

放送番組の種類	録画可能時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送(HD)番組だけを録画する場合	約 50 時間
BS/110 度 CS デジタルハイビジョン放送だけを録画する場合	約 42 時間
地上デジタル及び BS/110 度 CS デジタルの標準テレビ放送 (SD) 番組だけを録画する場合	約 125 時間

※USBハードディスクの残量時間表示は、BSデジタル放送のHD放送(24Mbps)を基準に算出しています。録画可能時間はあくまで目安です。

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
見ている番組を録画する	33 ページ
番組表から録画予約する	33 ページ
連続ドラマ等を繰り返し録画予約する	34 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	35 ページ

対応機器一覧

動作確認済み外付け USB ハードディスクは下記表の通りです。各ホームページの情報もご確認ください。

アイ・オー・データ製

シリーズ	
HDCL-UTB シリーズ	HDUS-UT シリーズ
AVHD-AUT シリーズ	RHDM-U シリーズ
HDPC-UTC シリーズ	HDCA-U シリーズ
AVHD-PU シリーズ	AVHD-UR シリーズ

バッファロー社製

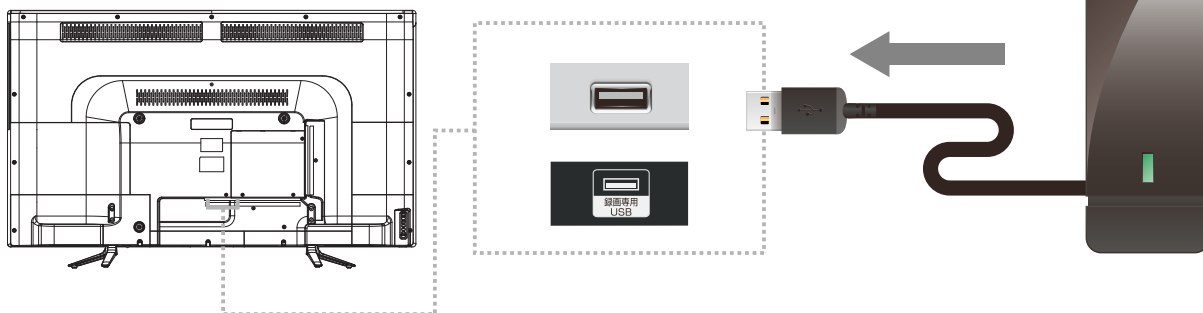
シリーズ	
HD-LCU3-C シリーズ	HD-LBVU3 シリーズ
HD-LLU3 シリーズ	HD-WLU3/R1 シリーズ
HD-LCU3 シリーズ	HD-AMU3/V シリーズ
HD-PCTU2(J) シリーズ	HD-AMCU3/V シリーズ
HD-ALU2(J) シリーズ	HDX-LSU2/V シリーズ

本機に接続したUSBハードディスク（別売り）で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

1. USBハードディスクを接続します。本機背面のUSB端子（録画用）にUSBハードディスクを接続してください。

※本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は3TBです。

※電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてから接続してください。



⚠ 注意

- ・パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータは全て消去されます。
- ・USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ・本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコン等では利用できません。

次ページへ続く→

対応機器一覧<つづき>

2.新しいUSBハードディスクを登録する。USBハードディスクを初めて接続する時は、必ず初期化をしてください。初期化をしないと録画することはできません。

【初期化の方法】

- ①リモコンの『メニュー』を押して『設定』→『外部機器設定』→『USBハードディスク設定』→『機器の初期化』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタン▲▼で初期化したい機器を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③『USBハードディスクを初期化しますか?』と表示されたら『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④初期化が完了したら、『決定』ボタンを押します。

【登録の方法】

- ①リモコンの『メニュー』を押して『設定』→『外部機器設定』→『USBハードディスク設定』→『機器の登録』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタン▲▼で登録したい機器を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③『方向』ボタン▲▼で『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④初期化が完了したら、『決定』ボタンを押します。

見ている番組を録画する

リモコンの『録画』ボタンを押すと、視聴中の番組の録画が始まります。

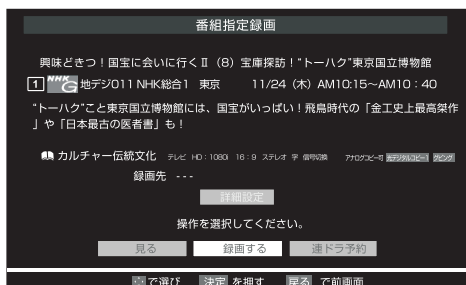
※録画時間の設定を変更する場合は、詳細設定で変更してください。
 ※地デジ放送で放送局の変更があった場合、予約通りに動作しないことがあります。
 ※複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。

番組表から録画予約をする

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタンで録画したい番組を選び『決定』ボタンを押します。
3. 下記の操作で録画・予約をします。

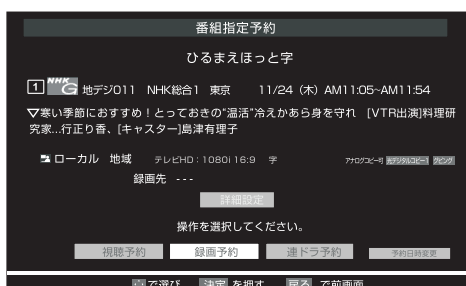
【現在放送中の番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で『録画する』を選び、『決定』ボタンを押します。



【これから放送される番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で『録画予約』を選び、『決定』ボタンを押します。



使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



連続ドラマ等を繰り返し録画予約する

連続ドラマなどのシリーズ番組や連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 連ドラ予約をする番組を『方向』ボタンで選び、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタンで『連ドラ予約』を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 『連ドラ予約しますか?』と表示されたら『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。

【連ドラ予約の詳細設定をする場合】

1. 『番組表』の『黄』を押し、詳細設定したい番組を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン◀▶で『詳細設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
3. 詳細設定を編集後、『設定完了』を選び、『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画する日時を指定して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. リモコンの『メニュー』ボタンを押します。
3. メニューが表示されたら『方向』ボタン▲▼で『予約リスト』を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 予約リスト表示されたらリモコンの『青』ボタンを押します。
5. 日時指定予約画面が表示されたら録画予約の日時を設定します。
 - ・ 6週間先まで指定できます。
 - ・ 特定の日の他に、『毎日』『毎週（月）～毎週（日）』『月～木』『月～金』『月～土』などの繰り返し録画も選べます。
6. 録画するチャンネルを設定します。設定する項目を『方向』ボタンで選びます。
 - ・ 放送の種類→地デジ、BS、CS
 - ・ 放送メディア→テレビ、ラジオ（BS、110度CSのみ）、データ
 - ・ チャンネル→指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

設定が終わったら『決定』ボタンを押します。
7. 『方向』ボタンで『録画予約』を選び、『決定』ボタンを押します。
8. 『予約を設定しました』が表示されたら、『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画を中止する

録画中に録画を途中でやめる時は、下記の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

リモコンの『停止』ボタンを押すと、『録画を中止してもよろしいですか?』と表示されるので『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。

予約の確認・予約の取消しをする

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. リモコンの『メニュー』ボタンを押します。
3. メニューが表示されたら『方向』ボタン▲▼で『予約リスト』を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 『方向』ボタン▲▼で予約を確認する番組を選び、『決定』ボタンを押します。この画面で予約の確認ができます。
5. 予約を取消しする場合には、『方向』ボタン◀▶で『はい』を選び、『決定』ボタンを押すと予約が取り消されます。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン

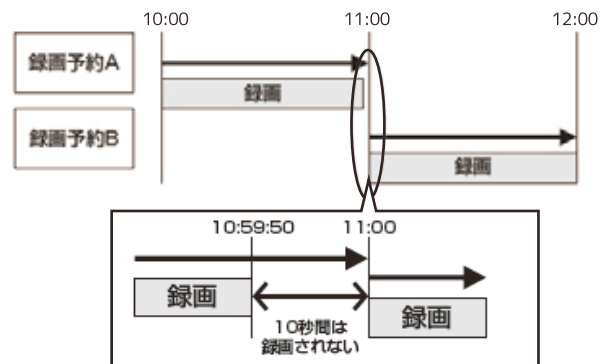


録画予約に関するお知らせ

録画動作について

【録画予約した番組の放送時間が連続する場合】

録画予約Aが10:00～11:00
録画予約Bが11:00～12:00の場合、
録画予約Aの終端10秒間は録画できません。

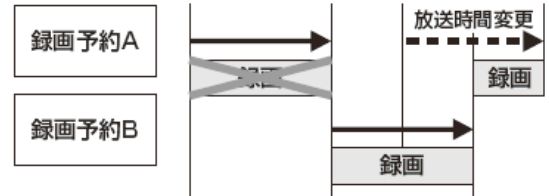


録画予約に関するお知らせ(つづき)

録画予約した番組が編成変更した場合の動作について

【録画予約した番組の放送開始時刻が変更され、他の録画予約と重複した場合】

録画予約Aの放送開始時刻が遅延し、録画予約Bの録画中の時間帯に変更された場合、録画を開始している録画予約Bが優先され、録画予約Bの録画終了後、録画予約Aの録画を開始します。



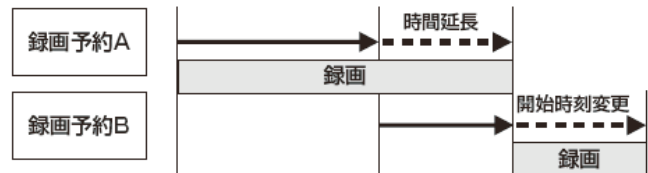
【録画予約した番組の放送時間が延長された場合】

放送時間延長分も含めて、全て録画されます。



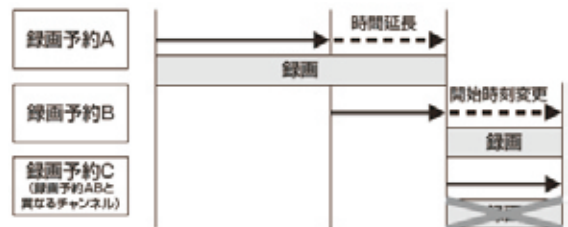
【録画予約した番組の放送時間が延長し、録画予約した次の番組の開始時刻が変更された場合】

録画予約Aの放送開始時刻が延長し、録画予約B（Aと同じチャンネル）の開始時刻が変更された場合、放送延長分も含めて、全て録画されます。



【録画予約した番組の開始時刻時間が変更され、他の録画予約と時間帯が重複した場合】

録画予約Aの放送時間が延長し、録画予約B（Aと同じチャンネル）の開始時刻が変更された場合、放送時間延長分も含めて、全て録画されます。但し、放送時間が重複した録画予約C（他チャンネル）は録画されません。



再生の基本操作

1. リモコンの『録画リスト』ボタンを押すと、録画リストが表示されます。録画リストには、選択している番組の簡単な情報や録画可能時間、USBハードディスクの残量などが表示されます。
2. 『方向』ボタン▲▼で見たい番組を選び、『決定』ボタンを押します。

⚠ 注意

- ・選んだ番組の再生が始まります。（再生されるまでに時間がかかる場合があります。）
- ・番組冒頭部分の4秒間を飛ばして再生が始まりますが、故障ではありません。
- ・番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になります。しばらくすると録画リストに戻ります。

3. 再生を停止させるには、リモコンの『停止』ボタンを押すか、リモコンの『終了』ボタンを押すか、または選局の操作などすると現在放送中の画面に戻ります。

⚠ 注意

- ・電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画リストが開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画リストを開いてください。
- ・USBハードディスクに録画した番組は、録画時間が15秒未満の場合は再生できません。次回電源を入れた時に、15秒未満の録画番組は自動的に削除されます。
- ・本機で録画した番組は本機でのみ再生できます。他のテレビ（同じ形式のテレビも含む）では再生できません。
- ・USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源を切ったり（停電等も含む）、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



続きから再生する

【レジューム再生】

再生する番組を選び、『決定』ボタンを押します。
前回、再生を途中で停止した場合は、続きから再生されます。

番組の冒頭が再生する

【頭出し再生】









再生する番組を選び、リモコンの『青』ボタンを押します。

録画中の番組を再生する

【追っかけ再生】

再生中の番組を『録画リスト』から選び、『決定』ボタンを押します。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

録画リストボタン 	録画リストを表示します
再生ボタン 	早見早聞再生をします。もう一度『再生』ボタンを押すと通常に戻ります。
一時停止ボタン 	再生を一時停止します。
停止ボタン 	USB/Hードディスクに録画した番組の再生を停止します。
早戻しボタン 	再生中に押すと、早戻しをします。
早送りボタン 	再生中に押すと、早送りをします。
10秒戻し 	再生中に押すと、10秒程戻って再生します。
30秒送り 	再生中に押すと、30秒程先に進んで再生します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



LE-5040TS

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。 ※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

1. リモコンの『録画リスト』を押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で保護する番組を選び、リモコンの『メニュー』ボタンを押して、方向ボタン▲▼で『保護』を選び、『決定』を押します。
3. 選択された番組が保護され、鍵マークが付きます。解除する場合は、保護されている番組を選び、リモコンの『メニュー』ボタンを押して、『方向』ボタン▲▼で『保護解除』を選び、『決定』を押します。

録画した番組を削除する

1. リモコンの『録画リスト』を押します。
2. リモコンの『赤』を押すと、削除する項目が選択できます。保護されている録画番組を消すには、保護を解除してから『赤』ボタンを押してください。
3. 『方向』ボタン▲▼で『1件削除』または『複数削除』または『グループ内全削除』を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 確認画面で『方向』ボタン◀▶で『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。複数削除する場合は、削除したい項目を選びます。
5. 削除が終了したら、『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画した番組を自動的に消す（自動削除設定）

お買上げ時は、ハードディスクの容量が足りなくなった時に、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は『削除しない』に設定してください。

1. リモコンの『録画リスト』を押します。
2. リモコンの『メニュー』を押して、方向ボタン▲▼で『自動削除設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタン▲▼で『削除する』又は『削除しない』を選び、『決定』ボタンを押します。

⚠ 注意

- ・ 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまで少し時間がかかります。
- ・ 録画リストに表示できる最大数は1000番組までです。

【録画した番組を項目別に確認する】

- ①リモコンの『録画リスト』を押します。
- ②リモコンの『10秒戻』または『30秒送』ボタンを押すと、項目ごとに録画した番組を確認できます。

使用するボタン

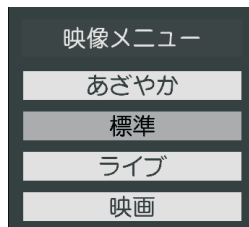
白い箇所が使用するボタン





リモコンの『メニュー』ボタンを押して『映像設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

映像メニュー



『方向』ボタン▲▼で項目を選び、『決定』ボタンを押します。

※それぞれ、映像調整することができます。映像調整をした項目右横に『：メモリー』と表示され、保持されます。

映像メニュー	
あざやか	日中の明るいリビングで迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。
ライブ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。

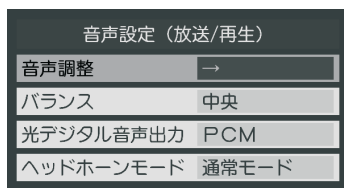
映像調整（放送/再生）



お好みに合わせて調整してください。調整した内容は保存されます。

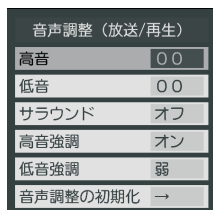
映像調整（放送/再生）	
バックライト	バックライトの明るさをお好みによって調整できます。
コントラスト	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
黒レベル	設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
色の濃さ	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
色あい	設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
シャープネス	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
詳細調整	映像をより細かく調整します。（右記詳細調整をご覧ください。）
映像調整の初期化	映像メモリー調整を初期設定に戻します。

詳細調整（放送/再生）	
カラーイメージコントロール	画像の色調を調整することができます。
ノイズリダクション	『ノイズリダクション設定』を選択して『決定』ボタンを押すと『MPEGNR』と『ダイナミックNR』の選択メニューが表示されます。 ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
ダイナミックバックライト制御	映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。 ・オン：ヒストグラムバックライト制御の機能が働きます。 ・オフ：この機能は働きません。
シネマスキャン	映画ソフト（フィルム映像）のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。 ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。 ※ 映像に違和感がある場合は、『オフ』に設定してください。
色温度	色をきめ細かく再現することができます。
ダイナミックガンマ	映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。
ガンマ調整	映像の暗い部分と明るい部分の階調バランスを調整します。
2Dアパチャー	映像の横線輪郭を強調したり弱めたりする機能です。数値が多き程、輪郭を強調します。



リモコンの『メニュー』ボタンを押して『音声設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

音声調整（放送/再生）



音声調整（放送/再生）	
高音	設定値が小さいほど高音を弱め、設定値が大きいほど高音を強調します。
低音	設定値が小さいほど低音を弱め、設定値が大きいほど低音を強調します。
サラウンド	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。『オン』『オフ』で切り換えます。
高音強調	ドラマのセリフや楽器の輪郭を明瞭にして聞きやすくします。『オン』『オフ』で切り換えます。
低音強調	低音の効果を強くすることができ、豊かな低音を再生します。『強』『弱』『オフ』で設定します。
音声調整の初期化	調整した内容をすべて出荷時の状態に戻します。

※ヘッドホンをご利用の場合は、音声調整の設定値は反映されません。

バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。

バランス 中央 左 ————+———— 右

光デジタル音声出力

光デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。お買上げ時は『PCM』に設定されています。

MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプをつなぐ時は『デジタルスルー』又は『サラウンド優先』に設定してください。



光デジタル音声出力	
PCM	リニアPCM信号が出力されます。
デジタルスルー	MPEG-2 AAC信号の場合、その信号が出力されます。
サラウンド優先	MPEG-2 AAC信号で、サラウンド音声（5.1chや4.1chサラウンド音声など）の場合には、それらの信号が出力されます。それ以外の場合にはリニアのPCM信号が出力されます。

ヘッドホンモード

ヘッドホンのモードを選択することができます。

ヘッドホンモード	
通常モード	ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーの音が消え、ヘッドホンから音が出ます。
親切モード	スピーカーとヘッドホンの両方から音が出ます。音量の調整については46ページをご覧ください。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『タイマー機能』を選び、『決定』ボタンを押します。

オンタイマー

設定した時刻に本機の電源が自動的にオンになります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻を取得していない場合には使用できません。『オンタイマー』を選び、『決定』ボタンを押します。

オンタイマー	
オンタイマー機能	動作しない
日時	月～金 AM 7:00
チャンネル	BS103
音量	30

オンタイマー	
オンタイマー機能	オンタイマーの『動作しない』『通常オン』『だんだんオン』を設定します。『だんだんオン』とは、オンになる1分前から画面の明るさ、音量ともに徐々に通常の状態になる設定です。
日時	オンタイマーで本機の電源を『入』にする日時を設定します。
チャンネル	オンタイマーで電源が『入』になった時に、画面に映すチャンネルを設定します。
音量	オンタイマーで電源が『入』になった時の音量を設定します。

※『オンタイマー』を『入』にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切ります。

※本体の電源ボタンで電源を切らないでください。または電源プラグをコンセントから抜かないでください。

オフタイマー

オフタイマーを設定すると、設定した時間を経過すると電源が切れて、待機状態になります。

オンタイマー機能	
動作しない	
通常オン	
だんだんオン	
↑ ↓ で選び 決定 で設定完了	

『オフタイマー』を選び、『決定』ボタンを押します。

オフタイマー	
オフタイマー機能	オフタイマーの『動作しない』『通常オフ』『だんだんオフ』を設定します。『だんだんオフ』とは、オフになる1分前から画面の明るさ、音量ともに徐々にオフの状態になる設定です。
オフタイマー時間	『あと30分』『あと60分』『あと90分』『あと120分』から選ぶことができます。

※電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。

※オフタイマーが設定されている時にメニューを押すと、メニューの『タイマー機能』に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『画面サイズ切替』を選び、『決定』ボタンを押します。または、リモコンの『画面サイズ』を押すたびに画面のサイズが切り換ります。

ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します。（上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします。）



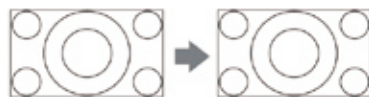
ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



フル

方向ボタン▶を押して『ジャストスキャン』と『オーバースキャン』が選択できます。



ミニ番組表

画面下部に番組表を表示させることができます。リモコンの『メニュー』ボタンを押して『ミニ番組表』を選び、『決定』ボタンを押します。または、リモコンの『ミニ番組表』を選び、『決定』ボタンを押します。『終了』ボタンを押して終了します。

番組説明

画面に番組内容が表示されます。リモコンの『メニュー』ボタンを押して『番組説明』を選び、『決定』ボタンを押します。または、リモコンの『番組説明』を選び、『決定』ボタンを押します。

連ドラ予約

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『連ドラ予約』を選び、『決定』ボタンを押します。

スピーカー切替

スピーカーの切り換えができます。リモコンの『メニュー』ボタンを押して『スピーカー切替』を選び、『決定』ボタンを押します。『方向』ボタン▲▼で『テレビのスピーカーで聴く』または『AVシステムのスピーカーで聴く』を選び、『決定』ボタンを押します。

親切ヘッドホン音量

ヘッドホンの『親切モード』時の音量を変更します。ヘッドホンモードが『親切モード』の時に音量を調整することができます。リモコンの『メニュー』ボタンを押して『ヘッドホン音量』を選び、『決定』ボタンを押します。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『その他の操作』を選び、『決定』ボタンを押します。

予約リスト

予約しているリストを確認することができます。『予約リスト』を選び、『決定』ボタンを押します。

信号切換

放送局が信号切換に対応している時に切り換えることができます。『映像信号切換』『音声信号切換』『音多切換』『データ信号切換』『字幕切換』『降雨対応放送切換』の項目があります。『信号切換』を選び、『決定』ボタンを押します。

【降雨対応放送について】

以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えることができます。

電波の受信状態が良くありません。
メニューから降雨対応放送に切り換えられます。

コード: E201

※降雨対応放送をやめるには、『通常の放送』を選択してください。

チャンネル番号入力

『チャンネル番号入力』を選び、『決定』ボタンを押します。『数字』ボタンで直接チャンネルを選局することができます。

例) チャンネルの『023』を選局するときは、数字ボタン『10』→『2』→『3』を順に押します。リモコンの『3桁入力』ボタンを押しても入力することができます。

アンテナレベル表示

受信中の放送波のアンテナレベルの確認をすることができます。『アンテナレベル表示』を選び、『決定』ボタンを押します。『方向』ボタン◀▶で伝送チャンネルを選択することができます。

データ放送終了

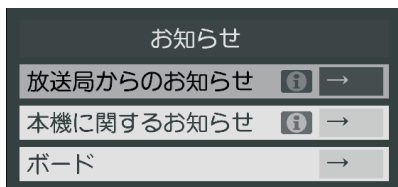
データ放送を終了することができます。『データ放送終了』を選び、『決定』ボタンを押します。

テレビ/ラジオ/データ切換

放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。『テレビ/ラジオ/データ切換』を選び、『決定』ボタンを押します。

お知らせ

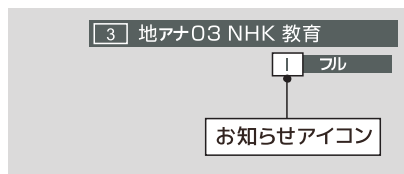
- 1.『お知らせ』を選び、『決定』ボタンを押します。



- 2.『方向』ボタン▲▼でお知らせの種類を選び、『決定』ボタンを押します。

放送局からののお知らせ	デジタル放送局からののお知らせです。
本機に関するお知らせ	予約等について本機が発行したお知らせです。
ボード	110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

- ・未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や『画面表示』を押した時に画面に『お知らせアイコン』が表示されます。



【「本機に関するお知らせ」を削除する場合】

削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

- 1.『本機に関するお知らせ』の画面で、リモコンの『青』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン◀▶で『はい』を選び、『決定』ボタンを押します。

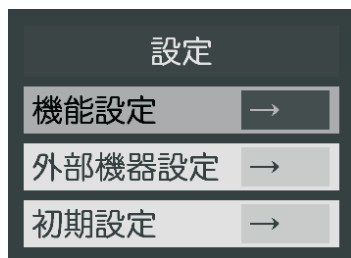
※『本機に関するお知らせ』すべてが削除されます。

⚠ 注意

- ・『放送局からののお知らせ』は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは合わせて24通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります。) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- ・『本機に関するお知らせ』は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- ・『ボード』は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

ソフトウェアバージョン

『ソフトウェアバージョン』を選び、『決定』ボタンを押します。現在のソフトウェアのバージョンを確認することができます。



リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『機能設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

省エネ設定

省エネ設定では右記の設定を行います。

節電モード	バックライトの明るさを調整し消費電力をお好みに調整できます。
番組情報取得設定	電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を自動的に取得するかしないかを選択します。
無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。
オンエアー無信号オフ	放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。
外部入力無信号オフ	外部入力選択時に、無信号状態が約15分続くと、電源が切れ待機状態にするかしないかを選択します。

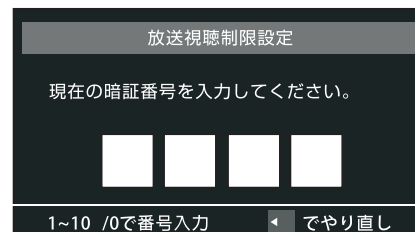
視聴制限設定

視聴制限設定では視聴年齢制限設定、暗証番号設定、暗証番号削除を設定できます。

※視聴年齢制限のある番組を見るには、暗証番号の設定が必要です。

【暗証番号の設定】

- 1.『暗証番号設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力します。
入力後確認のためもう1度入力画面が出ますので、再度入力して『決定』ボタンを押します。



【暗証番号の削除】

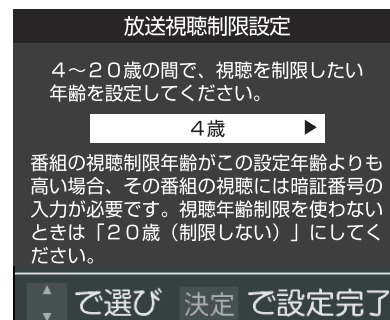
- 1.『暗証番号削除』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力し、『決定』ボタンを押します。
- 3.『方向』ボタン◀▶で『はい』を選択し、『決定』ボタンを押すと削除されます。

【放送視聴制限設定】

デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには暗証番号および以下の設定が必要です。

- 1.『放送視聴制限設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『1～10の数字』ボタンで暗証番号を入力します。
- 3.『方向』ボタン◀▶で年齢を選択し、『決定』ボタンを押します。

※視聴年齢制限を使わないときは『20歳』にしてください。



※設定できる年齢は4歳から20歳までです。

外部入力設定

【外部入力表示設定】

入力切換をしたときに表示される機器の名称（ブルーレイ、DVDなど）を変更することができます。

外部入力表示設定	
HDMI 1	ブルーレイ
HDMI2	ブルーレイ
HDMI3	ブルーレイ
ビデオ	ブルーレイ
外部入力表示設定の初期化	→

【外部入カスキップ設定】

入力切換をする時に、使っていない入力をスキップすることができます。

- 1.『外部入カスキップ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定する外部入力を『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

※決定ボタンを押すたびにスキップが『する』『しない』に切り換ります。

外部入カスキップ設定	
外部入力	スキップ
HDMI 1	しない
HDMI2	しない
HDMI3	しない
ビデオ	しない
▲ ▼ で選び	決定 で設定/解除

次ページへ続く→

外部入力設定<つづき>

【RGBレンジ設定】

通常は『オート』でご使用ください。機器のRGBレンジが認識できない場合は、機器の仕様に合わせて設定をしてください。

- 1.『RGBレンジ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.設定するHDMIを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。
- 3.設定する項目を『方向』ボタン▲▼で以下の設定から選び、『決定』ボタンを押します。

オート	自動識別します。
フルレンジ	RGBレンジ0～255の場合に選びます。
リミテッドレンジ	RGBレンジ16～235の場合に選びます。



【ビデオ音声入力設定】

- 1.『ビデオ音声入力設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で『ビデオ音声』または『HDMI音声』から選び、『決定』ボタンを押します。

画面調整

画面の位置や幅を調整することができます。

画面右下に表示されている『放送/端子、信号、画面サイズ』の組み合わせごとに、『画面調整』の調整状態が記憶されます。

※画面サイズ切換がフルの場合は調整できません。

※映像の種類と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

- 1.『画面調整』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で調整したい項目を選び、設定します。

※調整画面では、方向ボタン◀▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。

上下振幅調整	映像のサイズを調整します。『-03～+03』の範囲で調整できます。
上下画面位置	映像の表示位置を上下に調整します。『-10～+10』の範囲で調整できます。
左右振幅調整	映像の横のサイズを調整します。『-03～+03』の範囲で調整できます。
初期設定に戻す	設定を初期設定に戻します。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『外部機器設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

USB ハードディスク設定

『USBハードディスク設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

【機器の登録】

リストに『未登録』と表示されているUSBハードディスクを登録したり、登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。

【省エネ設定】

本機の電源が『入』の時に、USBハードディスクの電源を常時『入』にしておくか（通常モード）、USBハードディスクを使用しない状態が続いたときは待機状態にする（省エネモード）にするかを設定できます。

【機器の取りはずし】

本機に接続したUSBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜くときに、この操作をします。

※本機に一度登録してから取り外したUSBハードディスクは、再度接続した時に自動的に認識します。録画した番組を消去することなく登録できます。

※本機に接続したUSBハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しをしなかった場合、次回電源を入れた時に、ハードディスクの認識に数分かかったり、認識できなくなる可能性があります。また、本機の動作が不安定になる場合があります。

【動作テスト】

本機に接続したUSBハードディスクで、ハイビジョン画質の録画、録画中の再生等ができるかテストします。テストしたいUSBハードディスクを選ぶと、テストが開始され、テストの結果に問題無い場合は、『HDDは正常に動作しています』と表示されます。

【録画番組の修復】

録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、『録画番組の修復』をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。

【機器の初期化】

USBハードディスクを初期化します。正常に使用できなくなったUSBハードディスクを初期化することで使用できるようになる場合があります。

※初期化すると、USBハードディスクに保存されている内容は全て消去されます。

※USBハードディスクの初期化中に、本機やUSBハードディスクの電源をオフ（停電等も含む）したり、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因となります。合があります。

録画再生設定

『録画再生設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

【録画基本設定】

録画先にする機器の初期候補を設定します。

【ワンタッチスキップ設定】

録画番組の再生中にリモコンの『30秒送』ボタンを押すと、見たくないシーンなどを少し飛ばして見ることができます。お買い上げ時の設定では、30秒後のシーンに飛ばすようになっています。（リモコンには、お買い上げ時の動作『30秒送』が表示されています）飛ばす時間を変更することができます。

【ワンタッチリプレイ設定】

録画番組の再生中に『10秒戻』ボタンを押すと、見逃したシーンなどを少し戻って見ることができます。お買い上げ時の設定では、10秒前のシーンに戻るようになっています。（リモコンには、お買い上げ時の動作『10秒戻し』が表示されています）戻す時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておくと、飛ばしすぎたときに便利です。

HDMI 連動設定

1. 『HDMI連動設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定する項目を『方向』ボタン▲▼で以下の設定から選び、『決定』ボタンを押します。

HDMI連動機能	HDMIの各種連動制御を使用するかどうかを設定します。
HDMI連動機器リスト	1台以上のHDMI連動機器を接続する時、1つのHDMI連動機器選択を設定します。 ※『赤』ボタンを押すとHDMIの接続が検出されます。
リモコン動作モード	リモコン動作モードに対応したレコーダーを接続している場合、『連動機器優先』に設定すると、本機のリモコンでレコーダーを操作できる機能がふえます。
連動機器→テレビ入力切替	連動機器の再生操作をした時に、本機が自動的に入力切替をして、その機器の選択をする機能です。（本機の電源『入』の場合。）
連動機器→テレビ電源	連動機器の電源を入れた時に、本機が自動的に電源を入れます。
テレビ→連動機器電源オフ	本機の電源を切った時に、連動機器が自動的に電源を切ります。
PC映像連動	本機に接続したCEC対応のパソコンからの映像を見る場合に、パソコンの画面の形式や映像に応じて、本機が自動的に画面サイズや映像メニューの設定を切り換える機能です。
AVシステム連動	『使用する』に設定すると、CEC対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。 ・ 音声をテレビから出するか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切替え ・ オーディオ機器の音量調節や消音 ・ 本機が認識できるオーディオ機器は1台のみです。
AVシステム音声連動	CEC対応のオーディオ機器との音声連携機能を使うかどうかを設定します。 ・ オーディオ機器が本機と音声連携可能な機種であり、かつオーディオ機器から音声が出る状態になっているときに設定できます。
優先スピーカー	AVシステム連動を『使用する』に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。 ・ テレビスピーカー：本機のスピーカーから音声が出ます。 ・ AVシステムスピーカー：オーディオ機器の電源が『入』のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 ※本機のヘッドホン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。
AVシステム音声入力設定	オーディオ機器の音声入力を指定することができます。 例：例 レコーダーを本機の『HDMI2』に接続して視聴する場合で、レコーダーの音声をオーディオ機器の『入力3』に接続してオーディオ機器のスピーカーで聴きたいときは、方向ボタンで『HDMI2』を選択して『決定』を押し、方向ボタンで『入力3』を選択して『決定』を押します。

※接続した機器は CEC 機能を対応できる、また CEC 機能を ON に設定した時のみ機能します。
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご参考ください。



リモコンの『メニュー』ボタンを押して『設定』→『初期設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

はじめての設定

引越などでお住まいの地域が変わった時には『はじめての設定』を行ってください。
操作手順は📖12・13ページをご覧ください。

アンテナ設定

アンテナの方向調整と設定を行います。
操作手順は📖14・15ページをご覧ください。

チャンネル設定

【地上デジタル自動設定】

引越した場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて下記のスキャン方法を選びます。
『チャンネル設定』→『地上デジタル自動設定』を選び『決定』ボタンを押します。

初期スキャン	本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越した場合にも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。
再スキャン	新しい放送局が開局したとき、中継局が新しく設置された場合や、伝送チャンネルが変更した場合などに行う設定です。本スキャンにより、現在受信できる地上デジタル放送のチャンネルを更新することができます。
自動スキャン	本スキャンにより、電源待機時などに自動的に伝送チャンネルをスキャンし放送局の開局や、伝送チャンネルの変更などに対して、地上デジタル放送の受信チャンネルを自動的に更新することができます。

次ページへ続く→

チャンネル設定 (つづき)

【手動設定】

リモコンの数字キーにどのチャンネルを割り当てるかを設定します。

『チャンネル設定』→『手動設定』を選び『決定』ボタンを押します。

1. 『方向』ボタン▲▼で変更したい放送の種類を選択し、『決定』ボタンを押します。

地上デジタルチャンネル設定		
リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHKEテレ東京
3	---	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

2. 『方向』ボタン▲▼で設定したいチャンネルを選び『決定』ボタンを押します。

3. 『方向』ボタンで各項目を設定し、『設定完了』を選び『決定』ボタンを押します。 ※BS/110度CSも同様の設定となります。

【チャンネル設定の初期化】

チャンネルの設定をお買上げ時の状態に戻します。

1. 『チャンネル設定の初期化』を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン◀▶で『はい』または『いいえ』を選び、『決定』ボタンを押します。

【チャンネルスキップ設定】

チャンネル切換ボタンで選局する時に、不要なチャンネルをスキップすることができます。

1. 『チャンネルスキップ設定』を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で設定したい放送の種類を選択し、『決定』ボタンを押します。
3. スキップ設定を変更したいチャンネルを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押します。

チャンネルスキップ設定			
チャンネル	放送局	スキップ	
地デジ011	NHK総合1・東京	受信	
地デジ012	NHK総合2・東京	受信	
地デジ021	NHKEテレ1東京	受信	
地デジ022	NHKEテレ2東京	スキップ	
地デジ023	NHKEテレ3東京	スキップ	
地デジ031	テレ玉1	受信	

※決定ボタンを押すたびに『受信』と『スキップ』が交互に切り換ります。

※デジタル放送の放送メディア（テレビ/ラジオ/データ）を変える時は、『青』ボタンを押します。

データ放送設定

データ放送を見る際の設定を行います。『データ放送設定』を選び、『決定』ボタンを押します。



【郵便番号と地域の設定】

お住まいの郵便番号を入力しておくことにより、データ放送において、地域の情報を得ることができます。

1. お住まいの地域の郵便番号を入力します。



2. 『方向』ボタンでお住まいの地方を選択し、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』ボタンでお住まいの地域を選択し、『決定』ボタンを押すと設定完了です。

【文字スーパー表示設定】

見ている番組とは連動せずに速報ニュースなどを表示するものです。『文字スーパー表示設定』を選び『決定』ボタンを押します。『表示する』または『表示しない』を設定できます。

【ルート証明書番号】

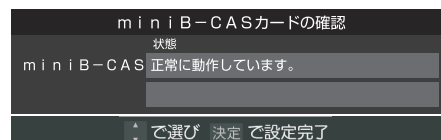
地上デジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されます。『ルート証明書番号』を選び『決定』ボタンを押します。

通信設定

LAN端子の接続をした場合に設定します。

mini B-CASカードの確認

『mini B-CASカードの確認』を選び、『決定』ボタンを押すと、mini B-CASカードの状態が表示されます。

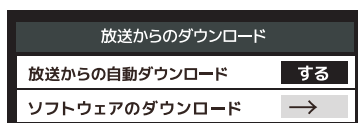


ソフトウェアのダウンロード

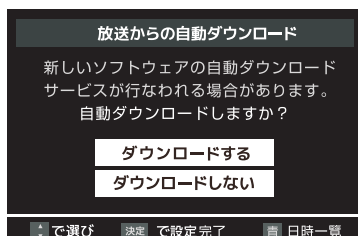
ソフトウェア自動更新の設定や、ソフトウェアバージョンを確認できます。

【放送からのダウンロード】

- 1.『ソフトウェアのダウンロード』→『放送からの自動ダウンロード』を選び、『決定』ボタンを押します。



- 2.『方向』ボタン▲▼で『ダウンロードする』または『ダウンロードしない』を選択し、『決定』ボタンを押します。



【ソフトウェアバージョン】

『ソフトウェアバージョン』を選び『決定』ボタンを押すと現在のソフトウェアバージョンを表示します。

⚠ 注意

- ・『ダウンロードする』に設定しておく、新しいソフトウェアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。
- ・『ダウンロードしない』に設定している場合は、『お知らせ（メール）』の『本機に関するお知らせ』に、ソフトウェア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日までに『ダウンロードする』に設定してください。
- ・本体の電源がOFFになっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようにご注意ください。
- ・アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHKのアンテナレベルが50以上になるようアンテナを調整してください。

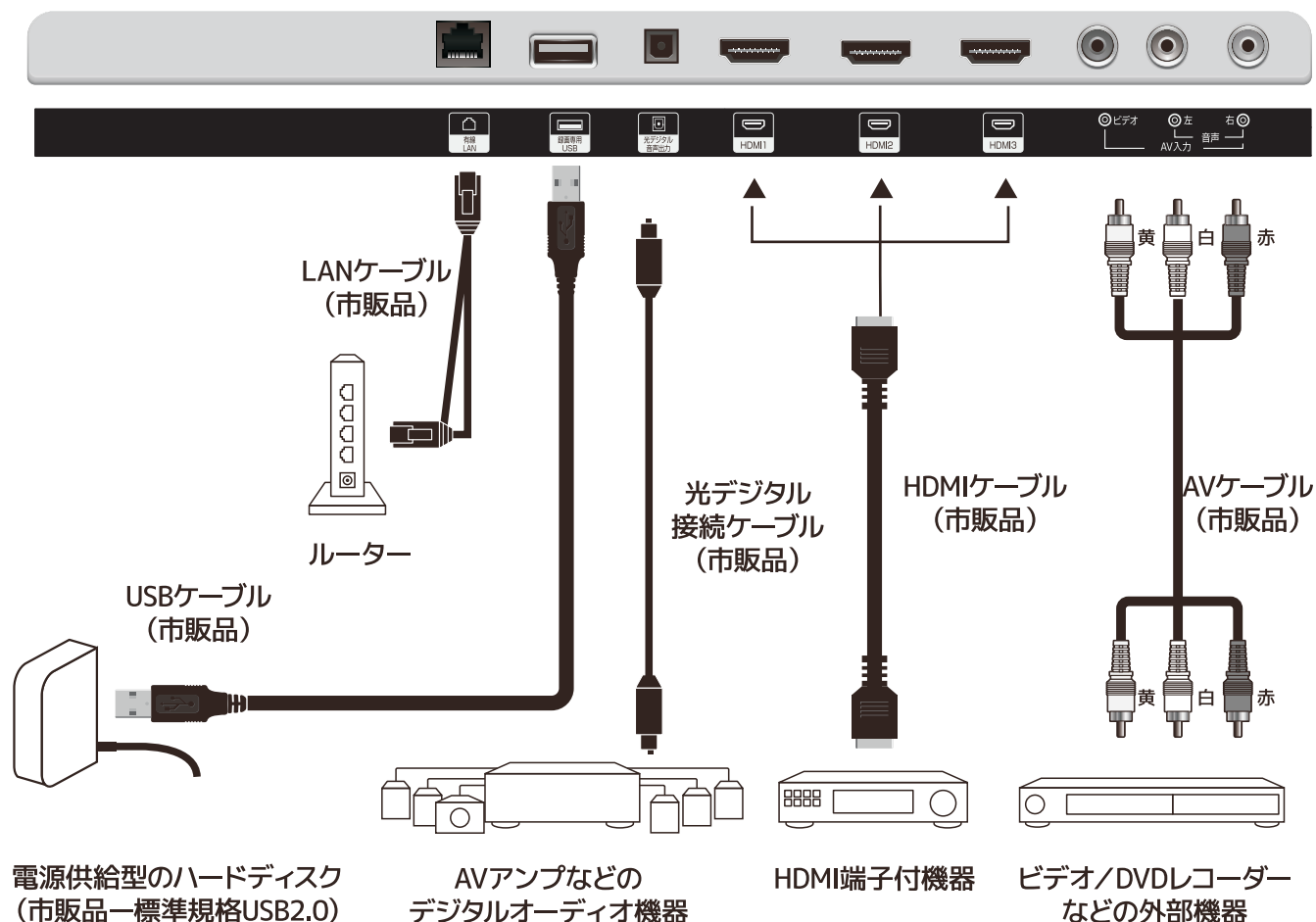
設定の初期化

- 1.『設定の初期化』を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で初期化したい項目を選択し、『決定』ボタンを押します。

初期化1	設定項目を初期化します。ただし、チャンネル設定、暗証番号入力が必要な設定は初期化されません。
初期化2	設定項目を初期化します。ただし、暗証番号入力が必要な設定は初期化されません。
すべての初期化	すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、個人情報の消去を行います。この機能は、本機を廃棄処分したり他人に譲り渡す場合に実行してください。

<接続する前に>

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



接続について

ビデオ (AVケーブル) で接続する

- 対応している規格はNTSCです。合わないものについては視聴できないことがあります。

HDMIケーブルで接続する

- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
- HDMI機器との相性により音が出ない場合があります。
- 当製品のHDMIバージョンは『1.3』です。機器間のリンク機能には対応しておりません。

USB/ハードディスクを接続する

- 『注意事項』『USB/ハードディスクについて』をよくお読みになってから接続使用してください。
- 『新しいハードディスクが接続されました』と表示されましたら、デジタル設定から各設定を行ってください。
- 取り外す場合には、必ず『設定メニュー』内にある『機器設定⇒ハードディスク⇒ディスク取り外し』を実行してから取り外してください。

液晶パネルについて	液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
画像の残像について	静止画を長時間表示された場合などに、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。
廃棄方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品を廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。 ・家電リサイクル法では、お客様がご使用済のテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。 ・mini B-CASカードは破棄せずに(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。
EWS(緊急警報放送)について	<p>EWS（緊急警報放送）とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。</p> <p>人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。 2) 津波警報が発せられた場合。 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN（米軍放送）の緊急告知放送には対応していません。 ・地上デジタル放送を視聴中にEWS（緊急警報放送）を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は「戻る」ボタンを押してください。
ES（エンジニアリング・サービス）について	<p>ES（エンジニアリング・サービス）とは、地上デジタル放送の電波を用いて本製品のファームウェア（ソフトウェア）を自動でアップデートし、機能の追加や改善などを行うサービスのことです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ESを行う際には、放送メールにて実施のお知らせが流れます。下図のメッセージが画面に表示された場合には、ESにご協力ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>XXXX年XX月XX日XX時XX分からソフトウェアのアップデートが実施されます。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2) 上記メッセージの時間帯に本製品を待機（スタンバイ）状態にします。 3) 時間になるとファームアップ（ファームウェアのアップデート）が始まります。 ※ファームアップには10～30分程度かかります。（電波の受信状況により変わります。） ※ファームアップ中は電源を切ったりアンテナ線を抜いたりしないでください。 4) ファームアップが終了すると、放送メールで下図のメッセージが送られます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ソフトウェアのアップデートに成功しました。</p> </div>
アナログ放送について	本機はアナログ放送（地上/衛星/CATV）については視聴できません。
HDMI連動機能について	機器間のリンク機能には対応しておりません。

※記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
 ※記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
電源が入っているのに画面に何も映らない	異なる外部入力モードになっている。	入力切替ボタンを押して入力モードを確認してください。
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。
	衛星放送アンテナに電源が供給されていない。	本機とBS/CSアンテナが正しく接続されている事を確認し、衛星放送アンテナに電源が供給されているか確認してください。
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。
突然電源が切れる	オフタイマーが動作している。	オフタイマーをオフにしてください。
地上デジタル・BS・CS放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。
	ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。	ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。
特定のチャンネルが映らない	受信感度が良くない。	再スキャンをおこなってください。。
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1
地上デジタル・BS・CS放送が映らない	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。降雨対応放送に対応している時は切り換えることができます。
	アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	アンテナ線の接続を確認してください。
音声は出るが映像が出ない	映像設定の調整が悪い。	設定メニューから映像設定の調整をしてください。
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。
音が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。
	ヘッドホンモードが通常モードの状態ではイヤホンが接続されている。	イヤホンを外してください。

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1
	画面の視野角から外れている。	視野角の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。
	他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。	妨害を受けているものから離してご使用ください。
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。降雨対応放送に対応している時は切り換えることができます。
画面の色がおかしい	「映像設定」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の調整をしてください。
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから映像メニューの設定をしてください。
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。	電池の+-を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。
	電池が消耗している。	2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。
	リモコン受信部近くに障害物がある。	受信部の前から障害物を避け、本機の受光範囲内（左右30度、上下15度まで）で使用ください。
	リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっている。	受信部を強い光から離してください。
番組表に何も表示されない	テレビ本体が操作不能になっている。	一度プラグをコンセントから抜いて、再度電源をいれてください。
	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。（電波状況により時間がかかる場合があります）
選局できない番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。	チャンネル設定からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。
	チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。
インターネットに接続できない	正しく設定されていない。	お客様のネットワーク環境をご確認ください。
	正しく通信できていない。	
画面に黒い点（点灯しない点）または輝点（光る点）が見える	画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在している。	液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。
予約録画したはずの番組が録画リストにない	HDDの容量不足。	HDDの容量を確認してください。
	録画時の受信状況が悪かった。	受信状況を確認してください。
	番組情報が取得できていなかった。	番組情報を取得してから予約録画をしてください。

※本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。

※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。

※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法
予約録画したはずの番組が録画リストにない	USBハードディスクの電源が入っていない。	電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてください。
	録画できない映像だった。	コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。
	放送開始時刻が変更された。	録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定」メニューの「お知らせ」で確認できます。
録画した番組が消えた	「自動削除設定」が「削除する」になっている。	「自動削除設定」を「削除しない」に設定してください。または、消したくない番組を選び「保護設定」を「保護する」に設定してください。
録画した番組が再生できない	本機以外で再生しようとした。	本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。
USBハードディスクが認識されない	USBハードディスクが正しく接続されていない。	USBハードディスクを正しく接続してください。USBハブを経由した場合は正しく動作しないことがあります。
	USBハードディスクが本機に登録されていない。	USBハードディスクを本機に登録してください。

製品仕様

商品名	50V型デジタルフルハイビジョン Wチューナー液晶テレビ	
品番	LE-5040TS	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	100W(待機電力0.5W)	
年間消費電力量	153kWh/年	
壁掛け取付寸法 (VESA 規格)	縦300×横400mm	
本体寸法	幅	約1125mm
	高さ(スタンド含む)	約710mm
	奥行(スタンド含む)	約251mm
本体質量(スタンド含む)	約11.01kg	
液晶パネル	受信機サイズ	50V型
	画面サイズ	50V型ワイド (16 : 9)
	画素数	1920×1080
	輝度	300cd/m ² ±10%
	コントラスト	4500 : 1
	対応速度	9.5ms
	視野角	約176/176 (左右/上下)
スピーカー	10W×2	
受信チャンネル	地上デジタルVHF(1-12ch),UHF(13-62ch),CATV(C13-C63) BS/CS : 1032-2071MHz	
入出力端子	イヤホン出力	1系統 (Φ3.5mmステレオモノピンジャック)
	B-CASスロット	1系統 (mini B-CAS)
	アンテナ入力	2系統 (地上デジタル/BS・CS)
	AV入力端子 (RCAピン)	1*1*1系統
	HDMI	3系統 (HDMI1 : ARC)
	光デジタル音声出力	1系統
	録画専用USB	1系統 (録画&ソフトアップデート用)
	LAN	1系統 (RJ45、for data broadcasting only)
使用条件	周囲温度：0℃～35℃ 相対湿度：20%～80%(結露のないこと)	
付属品	リモコン、リモコンテスト用電池 (単4形乾電池*2本)、mini B-CASカード、取扱説明書、保証書、スタンド*2、スタンド取り付け用ネジ*2	
原産国	中国	

※ 本製品は日本国内専用です。

※ 本製品は双方向番組、番組連動データ放送に対応しておりませんので、これらのサービスについてはご利用になれません。

※ 本製品は電子番組 (EPG: 約 7 日分) と字幕・文字スーパー放送に対応しております。

※ 本製品の保証内容は、保証書に記載されてる保証規約に準じています。

※ 本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※ アンテナケーブルは付属しておりません。

※ CATV (ケーブルテレビ) を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。

※ 付属の単 4 形乾電池 2 本はリモコンの動作確認用です。リモコンを使用する場合には、新しい乾電池を別途ご用意ください。

※ 本製品へ接続可能なケーブルであっても、外部機器との相性により接続して使用することが難しい場合があります。
外部機器の取扱説明書をお読みいただき、弊社サポートセンターまでお問合せください。

※ 必要時以外にはメンテナンス端子に触れないでください。故障の原因になります。

※ 本製品に付属している電源コードのプラグは電気の断路回路として使用することがあります。
プラグ (断路回路) はすぐに外せるコンセントへ接続して使用してください。

免責事項について

- ・地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、弊社は一切の責任を負いません。

アフターサービス

- **本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。**
- **万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください。（有料）**
- **高温に対するご注意**
特に夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たるところ、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。
- **保証書**
本製品には保証書が付いています。
保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認の上、内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。
保証期間はお買上げ日より1年間です。
- **修理を依頼する時**
 - ※ **保証期間中は**
商品に保証書を添えてお買上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。
 - ※ **保証期間が過ぎている時は**
弊社またはお買上げの販売店にご相談ください。
- **補修用性能部品の保有期間**
50V型デジタルフルハイビジョン Wチューナー液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **アフターサービスについてご不明の場合**
アフターサービスについてご不明の場合には、弊社またはお買上げの販売店にお問い合わせください。

ティーズネットワーク株式会社 お客様サポートセンターのご案内

製品に関するお問合せ窓口

 **042-827-3991**

受付時間：10時～17時

（土、日、祝祭日、及び弊社指定休業日を除く）

〒198-0042 東京都青梅市東青梅3-23-10

■輸入者 ティーズネットワーク株式会社 東京都台東区上野5-8-5CP10ビル4F